

大山北麓の活性化は？



米本 隆記 議員

町長

大山エコトラックで 体験してもらう

【米本】夕陽の丘神田の多目的グラウンドは、交流人口が増え町に潤いがもたらされる施設として、大山北麓の活性化の中心となるはずだった。

しかし、現状はサッカーの利用がほとんどで、そのほかの施設の利用は格段に増えたと思われない。当初目的の大山北麓の活性化になっていないと感じる。交流人口を増やすと言っていたが、どこで増えたのか。

【町長】サッカーの利用者が34600人と約7割を占めるが、宿



サッカーだけでは…

泊者数も5600人と平成23年度の2.6倍に増えた。

【米本】どこが、どのくらい潤ったのか。

【町長】宿泊や宴会の食材の一部を町内から仕入れて、昨年は約200万円が町内にもたらされた。宿泊者が多い時は、大山の旅館と宿泊の調整もしている。

【米本】これからの取り組みは何を中心にするのか。

【町長】地方創生事業の大山エコトラックのなかに体験型のメニューを取り入れていく。

議決を行政に反映は？

町長

議会の質疑を 聞いて考える

【米本】条例など議案の提案権は議会・議員にもあるが、予算の提案権は町長にのみ与えられた権利だ。町長と

議会は緊張関係にあり、議会は行政の監視役とも呼ばれる。議会は町民の負託を受けた合議体で、議会の議決は重要なものだと感じる。

町長は、議会の議決をどう受け止め、いかに反映していくのか。

【町長】議決の結果だけでは、どのような質疑が行われ議論がされたのかを慎重に考慮し、行政執行に反映していく。

【米本】6月定例会で議会が採択した、大山

診療所の存続を求める請願はどう受け止めたか。

【米本】どういう考え方で進むのか。
【町長】議会の議決をもって、今後の状況を検討し展開していく。



賛否の分かれる表決